

◇第Ⅱ期スタート

今日から第Ⅱ期がスタートしました。

教頭先生からは、「合唱は、花火と同じように、形に残らないはかないもの。でも、聞いた人の心にはその美しさ・素晴らしさがずっと残る。一曲の合唱曲を仕上げることは、花火を作り打ち上げるのと同じようにとても大変だけど、12月の川中音楽祭に向けて頑張っていこう。」という話を聞きました。



生徒代表の話は、3年生の富田さんの話でした。

「今日からⅡ期が始まります。I期の^{かがやき}「輝」は3つあります。

1つめは、清掃です。普段の清掃では、黙々と時間いっぱい行う姿、登校清掃ボランティアではたくさんの方が川島をきれいにしようとゴミ袋一杯にごみを拾ってくる姿がありました。2つ目はよさみつけです。I期のよさみつけでは、学級の仲間のよい姿を見つけて、皆で伝え合うことで学級の仲間のよさを認めたり、自分自身のよさを見つけて、皆で伝え合うことで、学級の仲間のよさを認めたり、自分自身のよさをあらためて知ることができたと思います。3つ目はあいさつです。スーパーおはよう日では、小学生の人と一緒に大きな声であいさつをしたり、交互に並んで小学生と関わりをもったりする姿がありました。小学生と共に地域を盛り上げようという思いからの行動は誇らしいです。I期で創り上げた^{かがやき}「輝」の姿を、休み明けでも継続していきましょう。

また、Ⅱ期には、川中音楽祭があります。それぞれの学級合唱、学年合唱をよいものにするために、普段の合唱練習から積み重ねられるようにしましょう。音楽祭では、川中の第2の校歌でもある「だいじなものは」を歌います。I期では、全校パート練習や、団子とでの合唱練習で、一人ひとりが声を出していたので、4本柱の1つの合唱を高めることができました。自分たちが力を発揮し、高め合った仲間と共に、最高のスタートがきれるようにしましょう。」



生徒指導の先生からは、オリンピック柔道で、敗戦し、泣き崩れた阿部詩選手の話や、智弁和歌山の辻主将の選手宣誓の話などがありました。



パリオリンピック 阿部選手

▶ 優勝候補の阿部選手が2回戦でまさかの敗戦。会場中に響き渡る泣き声。衝撃を受けた。一瞬で決まってしまうスポーツの一つ。この日の為に何年もかけて自由な時間も犠牲して金メダルを目指してきたのが一瞬で負けてしまった。泣き崩れる姿に賛否両論はあったが私はあの姿に衝撃を受けた。この日のためにどれだけ努力をしてきたのか。それは相手も同じだが、自分は今、何かに全力で取り組むことができているのか、今のままでいいのかと考えられた出来事であった。

考えさせられた甲子園 選手宣誓



智弁和歌山高校 辻主将

「宣誓、僕たちには夢があります。ここ、甲子園で日本一になることです。100年前、この地に甲子園球場が誕生し、それ以来、全国の球児がここでプレーすることを夢見てきました。・・・」

努力したとしても報われるとは限らない。しかし、努力しなければ報われることはない。この言葉に励まされ、僕はここに立つことができました。そして、これからもこの言葉を胸に、最後まで戦い抜いていきます。

放送を聞いていた2Aの青山さんは、「辻主将の話が心に残った」と学級のみんなの前で話をしていました。

Ⅱ期も、3年生の修学旅行、2年生の職業体験、1年生の校外学習、「おしえるがっこう」での発表、そして12月の川中音楽祭など、わくわくするような行事がたくさんありますが、一つ一つ頑張っていきましょう!!